

特定非営利活動法人 雑司が谷ひろばくらぶ

雑司が谷ひろばくらぶは「雑司が谷・南池袋まちづくりの会」と高田小学校跡地の「公園計画検討会」を母体にして生まれました。地域のまちづくりを活性化することを目的に、公園の花壇の手入れ・清掃、小中学生を対象とした見守り、ぞうしがやプレーパーク、まちあるき勉強会など、様々な活動を行っています。

公園花壇の手入れ・清掃は3年前から始まり、近隣住民10人ほどが参加しています。9月25日の活動では、柵を乗り越え、花を踏みつけてトイレに行く人がいるため、花を移動して背の高い植物を植える準備をしました。



▲「学帽は?」「先に行ったよ」など声掛けもしています



◀ 雑司が谷三角ひろば
ゴミが散乱していたと
ころにベンチを設置し、
きれいにデザインする
ことで地域の憩いの
場所に

見守り活動は朝と夜に行い、朝はH26年頃から毎日、通学・通勤で通る人全員に挨拶をします。活動を続ける中で、ラジオ体操や犬の散歩をしている人がその用事のついでに協力してくれるようになり、学校の先生が通勤経路を変更し、通学路を通ることで見守りに協力するなど、協力者も増えました。夜はH24年頃から月に2回、公園5か所をポイントに5人でゴミ拾いをしながら塾帰りの子どもに声掛けをして回っています。

まちをきれいにし、声を掛け合うことは犯罪の抑止力にもつながっています。雑司が谷ひろばくらぶでは、安全・安心な環境を大切にして、住みたいまち・住みやすいまちを目指して活動しています。



▲ 雑司が谷中央児童遊園
花壇の手入れ